

(様式第 4 号)

上田市社会教育委員会 会議概要

1 審 議 会 名	第 1 0 期第 1 1 回社会教育委員会
2 日 時	令和 8 年 6 月 2 9 日 午後 3 時 0 0 分から午後 4 時 3 5 分まで
3 会 場	市役所本庁舎 2 階 202・203 会議室
4 出 席 者	宮下俊哉委員（代表者）、山崎順子委員（代表者代理）、小平千文委員、 滝澤正幸委員、窪田富子委員、小林眞由美委員、坂口純一委員、手塚由花委員
5 市側出席者	佐藤生涯学習・文化財課長、田中中央公民館長、金田上田図書館長、 横田生涯学習係長、荒井生涯学習係主任
6 公開・非公開	☒ 公 開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍 聴 者	0 人 記者 0 人
8 会議概要作成年月日	令和 8 年 7 月 1 0 日

協 議 事 項 等

1 開 会

2 あいさつ（宮下代表者、佐藤生涯学習・文化財課長）

3 会議事項

（1）第 1 0 期社会教育委員の提言に向けて

- ・第 8 期社会教育委員提言の取組の考え方・取組状況について

資料に沿い、各所属長から第 8 期社会教育委員提言の取組の考え方・取組状況について説明

（質問・意見なし）

- ・第 1 0 期社会教育委員の提言に向けて課題の共有

事務局から今後の進め方について説明

第三次上田市生涯学習基本構想の中から特に重点と考えることについて各委員から発言

（事務局） 本日欠席の委員から事前に、基本方針 1（3）①の地域とともにある学校づくりに該当する「コミュニティスクールについて」を一番重点を置いて進めてほしい。学校と地域が Win - Win の関係になれば良いと考える。というご意見をいただいた。

（委 員） 私も同様に「コミュニティスクールの充実」が必要と考える。様々な活動をする中で、子どもたちが AI から導き出される答えについて判断できる力をつけていくことや、子どもに大人の背中を見せることの必要性、少子化や部活動の地域展開、PTA の解散等による子どもへの影響等の課題を感じている。そうした課題の解決のためには、コミュニティスクールを充実していくことが重要だと考える。

（委 員） 基本方針 1（1）①の気軽に参加できる学習機会の提供、基本方針 2（3）①の地域とともにある学校づくり、基本方針 3（3）①職員の資質向上に向けた取組、の 3 つを重点と考える。地域の小中学校ではやはり少子化が進んでいる。小さいからこそ、地域ぐるみで子どもたちを育てる、学校を核としてつながりを持つことが大切だと感じている。

また、AI を併用する時代の中で、自分で考える力や人を頼る力、多様な意見の中で何を選択するかということも重要なことだと考える。

（委 員） 基本方針 1（2）市民のニーズや社会情勢の変化に応じた学習機会の充実、基本方針 2（1）地域でのつながりを生む学びの推進、基本方針 3（1）学びの成果を生かすための情報提供の充実が重要と考える。委員を務める中で、生涯学習と社会福祉の連携をもう少し進められないかと考えている。障がい者や高齢者も含めて、居場所づくり、孤立の防止などが地域で対応できたら良い。

(委員) 基本方針1では(3)だれもが学習できる環境の整備、基本方針2では(3)地域での子どもを育む活動の充実、基本方針3では(2)学びの成果を地域に広げる取組の推進、が重要だと考える。

AI が広がる中で、人と人とのコミュニケーションの不足を感じている。学校でのコミュニティルームの取組や、クラブ活動で地域のひとが講師を務める等、地域の人が無理なく関わることが、子どもたちの豊かな学びにつながるのではないかなと思う。

(委員) 教育委員会としてどこに重点を置くべきかという、キーワードとしては人権、平和、多様性、子どもだと考える。基本構想の中では、基本方針1(2)市民のニーズや社会情勢の変化に応じた学習機会の充実、基本方針2(1)地域でのつながりを生む学びの推進、(3)地域での子どもを育む活動の充実、が該当すると考える。

(委員) 学ぶ機会をどのように作り上げるか、学び学びあう関係をどのように作っていくかが課題だと考える。

(委員) 基本方針1(3)だれもが学習できる環境の整備、基本方針2(3)地域での子どもを育む活動の充実、基本方針3(2)学びの成果を地域に広げる取組の推進が重要と考える。

学校卒業後は学ぶ機会から離れてしまう。どんな状況に置かれている人でも学べる環境を作ることは大事だと考える。また、地域の子どもの地域のみで育てるという思いが、子育て世代のみでなく広く地域に広がってほしいと思う。学んだことを自分のみで終わらせず、広げていくということも大事にしたい。

(委員) 基本方針1だれもが学べる環境の整備にあたると思うが、上田図書館も老朽化している。人が集うきっかけとなる場所と機会の提供は重要と考える。整備の際に施設を複合化することで、様々な人とのつながりを持つことができたり、利便性が高くなることもあるのではないかな。

また、地域での子どもの活動では高校生や大学生と地域との接点が少ないと感じている。

(委員) 教育委員会として、人権や平和などに重きを置くべきではないかという先程の指摘は、とても大事なことで感じた。そういう何かひとつの焦点、柱を立てたうえで内容をどう深めるかという議論をしたらどうか。

生涯に渡って学ぶということは、生涯に渡って人間らしく生きるためにという意味。人間らしく生きるためには、学ぶ必要がある。学ぶ環境づくりということが一番大事ではないかな。上田自由大学の精神にも通じるものがある。

(事務局) 皆さんからAIに関わる発言があった。基本構想ではAIについて触れていないが、ここ数年で急速に広まっており、触れないわけにはいかない状況になっていると考える。

(委員) 皆さんのお話を伺って、やはり「だれでも学べる環境づくり」は大事だと感じた。

(代表者) それでは、皆さんから出していただいた御意見を一度代表者、代表者代理、事務局で整理させていただき、次回の意見交換につなげたい。

4 その他
・次回日程について

5 閉 会